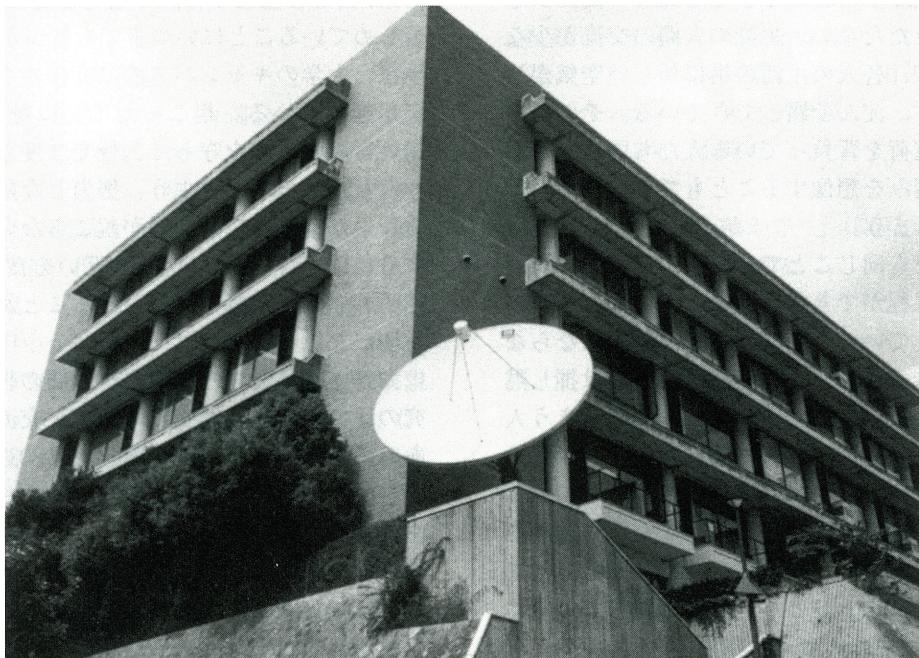


AV JOURNAL

2002年3月 第32号



目 次

「ビデオを見る会」の1年を終えて.....	田中 泰子.....	2
インターネット放送と外国語学習.....	藤家 洋昭.....	5
衛星放送視聴サービスのお知らせ.....		9
〈LL便り1〉 平成13年度テープ・ライブラリー利用統計.....		10
〈LL便り2〉 DVD所蔵一覧 その1		12
テープ・ライブラリー利用案内.....		15

「ビデオを見る会」の1年を終えて

ヨーロッパⅠ講座 田中泰子

1. 「ビデオを見る会」の発足

私たちはどうしてしまったのだろうか？ 同じ地球上でくらしているのに、民族間の殺し合いがたえない。今日もアフガニスタンで戦闘が続いている。同じ屋根の下で暮らしているのに、夫が妻や子ども達に暴力をふるい、同じ学校で学んでいる子どもたちの間でいじめが後をたたない。生身の人間の交流が少なくなって、各人の生活の場に新しい空気が流れ込まず、淀んで腐ってきている。その結果共通の重荷を背負っている人たち同士が相手の心の痛みを想像することもできず、傷つけあってしまう。

大学でも同じことである。あちこちの大学に博士課程ができる、豊かな知識をもつ若い人は増えているのに、発言しなければならない時でも、権力をもった人間の前では押し黙り、弱いものに対しては居丈高にふるまう人間がめだつ。どのボタンを押せば、道が開けるかの計算は細かにやるが、隣に座っているクラスメイトの痛みには気づかない。気づいても無視してしまう。3人の人間が集まっているのに、自分ひとりが3人分話していることに気づかない。母親を失った人の前で、母親と行った海外旅行のことを大声で話続けている。自分の論文に書いている高尚な思想とはまったく逆のことを日常生活でしながら、平氣でいる。要するに、自分以外の人々の立場、心が見えないし、わからないのだ。自分の見えないところで他人が流している汗や涙に気づくジェントルマンやレディがめっきり少なくなってしまった。しかも大学で。

だが、そうしたことは大学の授業で教えることではない。これは、子どもの頃から蓄積されてきた文化による。道徳教育などの「…すべからず」や「…すべし」で身に付くことでもない。たくさんの本を読み、いろんな考え方があることを知っている若い人は、自分以外の人が、自分とは反対側から、あるいは

少し違う角度からものを見ていることを知っているから、柔軟な人間関係をもてる。だが、育ってくる過程で、異なった発想法に触れなかつた人たちは、自分を軸にしてしか考えることができない。あるいは、皮相な常識だけで人間関係にレッテルをはつてしまう。その結果、自分の発言や行動で他人を傷つけたり、苦しめていることにいつまでも気づかない。現在、大学のキャンパス内でも様々な人権侵害が起きている。起こったことに対するは、弱いものの立場を守って、皆で2度とそういうことが起らぬよう、努力しなければならないが、こういう問題が起らぬないようにするには、私たち誰もが、お互いを良く知り、相手の立場、気持ちを思いやることが何より大切だと思う。

大学というところは本来、学問の教育・研究の場である以外に文化の発信・交流地でもある。例えば、私たちの大学では30近い民族の言語や文化を学んでいるのだから、図書館やホールで毎週のように大小さまざまな地域別イベントが催されても不思議でない。今週はインドネシアの、来週はデンマークの展示会があるとか、誰でも自由に入れる解説つき、字幕なしの映画会が開かれているとか（これは語学の勉強に大いに役立つ）、コープの食堂では今日は中国料理、明日はスペイン料理（もちろん、安い家庭料理）が出るといったふうに。そのほか、ミニコンサート、ミニ展覧会など、あらゆる文化的な催しが連日のようにあっていい。そういう場所にたえず出入りすることで、若い人たちの精神世界が少しづつ広がり、少しづつ柔軟になってくるはずだ。

だが、今のところ私たちの外大では、そうした習慣がほとんどない。文化的な多様さやゆとりがない。コンパクトなキャンパスの中で世界の文化が研究、教育され、数多くの外国人教員、留学生と毎日顔を合わせていると

いう願ってもない好条件があるのに、それが殆ど活かされていない。

だが今は若者たちの活字離れが進んでいる。苦労して講演会を開いても人が集まらない。それならせめて、映画（つまりビデオ）を見ようではないか、優れた映画と一緒に見ることで、自分自身の意見を持つ、若い知性を育てることができるのでないか。幸い必要な解説をしてもらえる各国の専門家たちがいっぱいいる！ そういうことで、2001年4月「ビデオを見る会」の呼びかけをした。

2. 会の1年間

そんなきさつから、毎週昼休みからアッセンブリーアワーにかけて、A207教室でたくさんの映画を見た。（映画の選択については、多くの方の助言をもとに約200点をリストアップした上、田中が決定した。）できるだけ、広い地域、異なる民族のものを、と選んだ。初めは田中が解説をしていたが、まもなくその映画の文化圏の専門家（外大教師）に解説をお願いするようになった。とは言っても、解説に充てられる時間はは3分—5分、映画が終わるか終わらないうちに学生たちは授業に走ってゆくという、ぎりぎりの時間帯だった。そういうわけで、いろいろ問題もあったが、前期には次のような作品を見た。（国名のあとのお名前は、当日の解説をして下さった先生方、記載がないものは田中解説。）

- 5／10 「ブロードキャスト・ニュース」
(アメリカ) E-0381
- 5／17 「キューリー夫妻」(フランス) F-0356
- 5／24 「子の櫻に手を添えて」(中国 深尾葉子先生)
- 5／31 「愛と喝采の日々」(アメリカ)
- 6／7 「ワールド・アパート」(イギリス 竹村景子先生)
- 6／14 「クラスメイト」(タイ 宮本マラシ一先生) T-0022
- 6／21 「オフィシャル・ストーリー」(アルゼンチン 山陰昭子先生) S-0016
- 6／28 「イル・ポステイーノ」(イタリア

松本健二先生、デル・ペッシュ先生)

It-0111

- 7／5 「シャル ウイー ダンス？」(日本) J-0238

- 7／12 「ひまわり」(イタリア・ロシア合作)
It-0022

- 7／19 「ジュリア」(アメリカ 渡辺克昭先生)
E-0182

7／26 上の10本についての感想などを述べ合うための昼食会を岸野令子さん（龍谷大学で「多文化映像論」の授業を担当中）を招いて職員会館で行った。(山陰、竹村、田辺、井本、デル・ペッシュ先生などが出場)
後期には次のものを見た。

- 10／4 「風の丘を越えて」(韓国 岸田文隆先生) K-0071

- 10／11 「運動靴と赤い金魚」(イラン 藤元優子先生) P-0056

- 10／25 「セントラル・ステーション」(ブルジル 河野彰先生) BP-0061

- 11／1 「旅情」(アメリカ 貴志雅之先生)
E-0094

- 11／8 「ようこそ、先輩」(長岡輝子が宮沢賢治について語る 小林恭先生)
V-0018

- 11／29 「季節の中で」(アメリカ 富田健次先生)

- 12／6 「誓いの休暇」(ロシア) R-0016

- 12／13 「大地と自由」(スペイン、イタリア、イギリス 中岡省治先生) S-0084

- 12／20 「ジャクリーヌ・デュプレ」(イギリス)

- 1／17 「宗家の3姉妹」(中国 田中仁先生)
C-0322

- 1／24 「接続」(韓国 河野彰先生)

2／17 後期に見たものについての話合い(昼食会)を岸野令子さんを混じえてもち、今後の運営についても話しあった。

3. 今後の予定

この会を始めるとき、「単位を与える授業と

したら？」という助言があった。けれども、私は単位などとは無関係な自由さ、自発性にこそ意味があると考え、無理を承知で「昼休み方式」を押し通した。けれども、これは私の誤算だった。学生が集まらない。180人ほどに入る教室ががらんとしている。26人集まつたのが最多数であった。(最近知ったのだが、映像資料学の授業の希望者は400人とか、この数字の違いが様々な問題を解く鍵かもしれない。)「ビデオを見る会」と仮称で出発してしまったが、結局正式の名前なしで最後まで来てしまった。これを見て、〈会員でないと見られない〉と思った学生や、何かの宗教団体による催しと思った学生もいたそうだ。また、映画は、自分ひとりが画面と向き合うものであって、他の人と一緒に見るものではない、と考える学生たちも多いと聞いた。ビデオをセットする、ポスターを描く、宣伝する——いろいろな仕事が出てきたが、常連になってきた学生たちにも自らそうした仕事を買ってでることは過大な負担になるようだった。その辺でも、私の理解は甘く、間違っていた。世代の差なのだろう。

発足した当時約30人ほどの先生方から励ましや支持のFAX、メール、メモ、電話などをいただいた。会議、その他でいちばん忙しい時間帯のことだったが、解説をお願いすると、皆さんとても気持ちよく協力してくださって、ほんとうに嬉しかった。〈勤務時間中に映画を観ている〉という非難めいた声があると伝えてくれた方がいたが、先生方は昼食もとらずに12時30分に解説のため駆けつけて、3~10分解説をすると仕事に戻って行かれた。田中も毎週12時30分に先生方の紹介に駆けつけ、それから会議に走った。こういう努力に対し、大学側から返ってきたものは、けっして温かいものとは言いがたい。残念である。

どこから聞いたのか、東京の2大学から問い合わせがあった。それぞれの大学で、人権侵害の問題に取り組んでいるが、どこでも結局根っこから解決することができないからなのだろう。

専門家に解説をお願いするようになってか

ら、やってくる学生が固定化してきた。この「解説つき。」というのがたいへん評判がいい。毎回短い時間の中で、民族の歴史、政治的・社会的背景などをコンパクトに説明してくださって、こんなに有意義な授業はなかなかないのでは、と思ったことも何度もある。

学生のひとりが、こんなに面白い、有意義な映画鑑賞会なのだから、学外のひとたちにも勧めたらどうだろうか、バイクの騒音の問題等でもめているが、こういうところへきていただくことで、相互理解が深まるだろう、と言ったのだが、それを実現することはなかなか難しいとわかって、断念した。スペイン戦争を扱った「大地と自由」を観た時には、中岡先生が、本学にいらしたスペイン人民戦線代表のアルバレス先生のことをレジュメまで作って話してくださった。「宗家の3姉妹」の時は、田中仁先生が当時の中国100年の詳しい年表を手に解説をしてくださった。アルゼンチンの「オフィシャルストーリー」では、スペイン戦争の闘士だった父とアルゼンチンで生まれた実業家の息子のスペイン語のちがいが、耳で聞くとすぐわかる、とおしゃった山陰先生の解説にさすが、外大と皆感心した。

今解説つきの映画鑑賞はめたんじゃない。学生達がいちばん評価しているこの点を是非今後も生かしたいと思っている。後期の話し合いで、実は学生にとってアッセンブリーアワーというのは、むしろ集まりにくい時間帯だということがわかった。「むしろ、授業があまり組まれてない時間帯に固定したらどうでしょうか?」という意見もあったけれど、90分ではどうしても無理(映画はたいてい2時間)、結局集中講義しか「解説、上映、質疑応答、話し合い」を満たす条件はないのでは、と話しているところへ、林田雅至先生からその可能性があると聞いた。結局、最初のスタート時点で勧められた授業形式(2002年度冬期集中講義。3日間で5本のリレー方式。)に落ち着いたが、あくまでも「ビデオを見る会」のスタート点に立って、映画の選択をしたいと思っている。

インターネット放送と外国語学習

地域文化学科トルコ語専攻 藤家 洋昭

外国語に浸る

「ウォークマンは語学学習のために発明されたものであり、従って外大生のために発明されたものである」とは、今から二十年近くも前、ウォークマンが世に出回りはじめたときの、本学ヒンディー語の溝上富夫教授（当時は助教授）の名言である。

外大生には、読む書く聞く話すバランスのとれた語学力が期待されるが、そのためにはことばに浸ることが必要で、まず本物を徹底的に聞くことが効果的である。

ところが、日本ではあまりメジャーでない外国語の場合、聞こうとしても聞くものがない、ということがある。それらのことばでは、テープ教材はないか、あっても限られている。限られているテープも、たまたま見つかった留学生に吹き込んでもらったりして、マイクの前に座るのになれていないためか緊張のあまりリズムや息遣いが不自然であったり、原稿を読み間違えたりしているものもある。また、教材テープは、その性格上、ことばの一部分だけが録音されたものであるといえる。学習者向けに抽出されたものが録音されているのである。誤解がないようにお願いしたいが、そのような教材が必要ないといっているわけでは決してない。教材テープが必要なことは言うまでもない。教材の例文などは耳にたこができるくらい、繰り返して聞く必要がある。ただ、それ以外のもの、それもなるべく本物、も聞いた方がいいということである。具体的には、ある程度のまとまりをもったものを普通のノーマルスピードで発しているものということになる。それにはラジオやテレビを聞くのが最適である。浸るということが第一目的なので、はじめのうちは内容が理解できなくても気にする必要はない。内容よりもそのことばのリズムになれるようこころが

けた方がいい。とにかく聞くことである。ここで先ほどの問題につきあたる。日本ではあまりメジャーでない外国語の場合、いったいどのようにしてラジオやテレビなどを聞くのか、ということである。以前なら（今もあるが）、いわゆる短波放送というものがあって、それを聞くことにより、なかば無理やり実現させていた。短波受信にはある程度マニアックな知識が必要であり、おまけに不安定である。きのう聞こえていたのに今日は聞こえないということもままある。（厳密に言うと短波ではないが）トルコのローカルラジオ局が日本でも聞こえていたことがある。しかしそれは、真冬の月曜日の未明3時前後という非常に厳しい限られた時間にしか聞こえなかつた（なぜ真冬で、月曜日で、午前3時か、というところにも短波受信の知識が求められる）。これではとても実用にならない。何とかしてクリアな音質の放送を聞く方法はないものだろうか。言われてみると当たり前だがそう簡単に実現できない方法がある。現地に行って録音することである。筆者も実行したひとりであり、かなりの録音をとったものである。そう簡単にその国へいけるわけでもないし、あまりにも大量のテープを持っていたりすると、国によってはスパイと間違えられるという。それより第一、習いはじめの者が録音のためにその国へ行くなどばかげている。日本においてクリアな放送は聞けないものだろうか。

インターネット放送の登場

世は、インターネットとかマルチメディアとかIT革命とかが叫ばれる時代である。機械があふれるだけでよくなつたのか悪くなつたのかわからない、という声もある。が、こと、外国語学習、それも日本ではあまりメジ

ヤーでない外国語の学習に関しては、インターネット、マルチメディアの恩恵に直接あずかれるまさに革命である。上に書いたようなことが高いレベルで解決された。クリアな音質のラジオはおろか、テレビまでもが見えるようになった。自宅のパソコンでトルコのテレビが映ったときは、興奮のあまり鼻血が出そうになった。トルコ語だけではない。トルコ語ファミリーに属する、アゼルバイジャン語のテレビ放送も見ることができる。その他、トルコ語ファミリーに属することばとして、トルクメン語、ウズベク語、カザフ語はもちろん、独立国をもたない、タール語とウイグル語のラジオが聞こえる。

こういう時代になったのである。これを外国語学習に活用しない手はない。今のところ、外大でもあまりしられていないらしく、実際に放送をみたり聞いたりした人は多くないようである。次に簡単に説明する。

必要なもの

必要なものは何かということからはじめよう。

(マルチメディア) パソコン。最近のパソコンはほとんどがマルチメディア仕様であるので心配ないが、古いパソコンの場合は注意が必要である。また、仕様がマルチメディアでも、スピーカーが外付けであったりする。そのパソコンでCDが聞けたりするのであれば、まず間違いない。

ソフト。見たり聞いたりするのには専用のソフトが必要である。ウインドウズメディアプレーヤとリアルプレーヤというソフトをインストールしなければならない。経済的な心配は無用で、現在のところフリー、つまり無料で手に入れ使うことができる。ウインドウズメディアプレーヤは、多くのパソコンにはじめからついてくる。しかしメディアプレーヤとリアルプレーヤには互換性がない。たいていの放送局はそのどちらか（の方式）によって放送を行なっているので、両方をインス

トールすることをすすめる。

インターネット接続。インターネット接続業者、電話会社などとの契約が必要。契約には従量制と定額制があるが、放送を見たり聞いたりする場合、接続時間が長くなるので、定額制にすることをおすすめする。もっとも、最近はやりのADSLであれば何の問題もない。ただ、どうしてもADSLが必要というわけでもない。例えば、トルコのテレビ放送の場合、伝送スピードが28kbs程度があるので、ISDNやアナログ回線でも十分実用になる。というより、メガ級の回線を使ってもオーバースペックであり、画質や音質がよくなるわけでもない。このあたりは、どの放送を受信するかによって選べばいいであろう。今から新たに契約するのであればいわゆるブロードバンド回線にした方がいいが、初期投資が若干必要である。

録音など

語学学習においては繰り返し聞くことが大切である。そのためには音声などを保存する必要がある。デジタル音声の保存の仕方は幾通りもある。このあたりもラジオなどから録音する場合と違っている。もっとも完全なのは、データをそっくりそのまま保存することである。この方法では、いつ聞いても、つまり放送局から送られてくるデータを直接聞いても保存したものをあとから聞いても、まったく劣化しないものを聞くことができる、というより、回線の状態があまりよくない場合、保存したものを聞いたほうが良好であるといえる。インターネット経由の受信の場合、回線が混むなどして伝送速度が落ちてくると、バッファリングといって音声がとぎれことがある。時には十秒以上も音声が中断する。しかし一旦手元のディスク（ローカルディスク）に保存（ダウンロード）したものを再生するときは、回線の混み具合など関係ないから、このような音声の中斷は起こらない。したがって一旦保存した方が良好に聞こえる、

というわけである。音声や動画は、データ量はかなりなものになるので、ディスクの容量は余裕を持つようにしたい。あれこれ保存しているとそれこそあつという間にディスクがいっぱいになってしまう。

このように、一度保存してから聞く利点が多いのだが、残念なことに、放送をデジタルデータのまま保存できないようにしている放送局も多い。例えばトルコの放送局でデータの保存（ダウンロード）ができるようになっているところを筆者は知らない。残念なことである。そういうときは仕方なく直接ではなく間接的にデータを保存することになる。普通言われている「録音」という行為である。録音の方法にも何通りがあるが、もっとも原始的であるが直感的なのはパソコンから出てくる音をマイクで拾ってラジカセなどに録音することである。特別な知識もいらない。しかし、外を走るバイクの音やたまたまかかってきた電話の音など、余計なものまで録音されてしまう恐れがあり、あまりいい方法ではない。マイクではなく、パソコンの音声出力とラジカセなどの入力をコードでつなぐ、という手もある。これならバイクや電話の音が混入する心配はない。ただ、パソコンの音声出力端子というのがわかりにくく多い。ラインアウト端子、スピーカー端子、ヘッドホン端子があるが、ヘッドホン端子に接続するとパソコンからの音は聞こえなくなったりして、慣れないうちは戸惑うことになる。間違えて変な端子につなぐと、機械が壊れたりすることもある。そこでやはり何とかパソコン内部に録音したいということになる。そのためには録音ソフトというものを使えばいい。これならデジタルデータとして保存できる。ただし、直接ダウンロードするのと違って、一旦音声にしたものを保存することになるので、保存したものの音質は悪くなる。また、外を走るバイクの音などが録音されるとはないものの、録音中に（パソコンを冷やす冷却ファンなどの音ではなく）パソコンが

音声として発する音はそのまま録音されてしまうことが多い。例えば同時に（ワープロの）ワードを使っていれば、アシスタントのイルカの音がいっしょに録音されてしまう。

放送のありか

ハード（機械）のことだけわかっても、放送のありかがわからなければ実際に聞くことができないのはもちろんである。本来ならここで各放送局のURLなどを紹介すべきなのであるが、とてもすべてを紹介しきれたものではない。最近インターネットで放送をする局が急増しているのである。トルコ系のことばかりでもかなりの数にのぼる。リンク集と、主な局に限ったことをおことわりしておく。

<http://www2.starcat.ne.jp/~ndxc/>

インターネット放送誕生以前からの放送受信研究のしにせ団体、NDXCのサイト。インターネット放送に関しては、まずはここを訪れるのをすすめる。さまざまな放送のスケジュールをはじめ、有益な情報満載。

http://www.nhk.or.jp/rj/index_j.html

N H K の国際放送、ラジオ日本のサイト。ラジオ日本が行なっている、（日本語を含む）22言語の放送を聞くことができる。

<http://www.trt.net.tr>

トルコのオフィシャル放送、T R T のサイト。テレビが6チャンネル、ラジオが5チャンネルある。内容は、バラエティーに富んでいてもりだくさん。あきることがない。それもそのはず、トルコ国内向けと全く同じものが流れているチャンネルもある。トルコのトルコ語だけでなく、トルコ語ファミリーに属する、アゼルバイジャン、トルクメン、タール、ウズベク、カザフ語のラジオ放送あり。

<mms://208.220.230.210/AzTV1>

出ました、アゼルバイジャンテレビ。もちろ

ん首都のバクーからの放送である。チャンネルがひとつしかないとはいうものの、トルコのテレビより（回線が速くて）よく映ったりする。トルコもうかうかしていられない。一説によると、トルコ系の言葉を話す国民の比率が世界でいちばん高い国は、アゼルバイジャンだという。この説の真偽はさだかではないが、カザフスタンなどに比べると、ことインターネットに限っても、民族語のパワーを感じられる。字幕などの表記に用いられる文字は、もはやソ連時代のキリル文字ではなく、トルコ文字（＝拡張ローマ字）である。このテレビ放送を見るためにはウインドウズメディアプレーヤが必要。mms://ではじまるURLは、ウインドウズメディアプレーヤに入力すること。ブラウザなど他のアプリケーションに入れてもエラーになるだけである。

<rtsp://www.xjbs.com.cn/encoder/hay>

本場のカザフ語を聞きたいならココ。今のところ、インターネット上のカザフ語放送では質量ともに最高である。というより、カザフ語放送局として最高である、（電波版の）*Şincañ Xalıq Radiyo Stansiyası*（ウルムチ）の番組をそのままインターネットに流している。とにかく朝から晩までカザフ語だけで放送している局は世界中さがしてもここしかない。どこかの国（＝カザフスタン）のように、放送時間の半分は別のことば、ということが

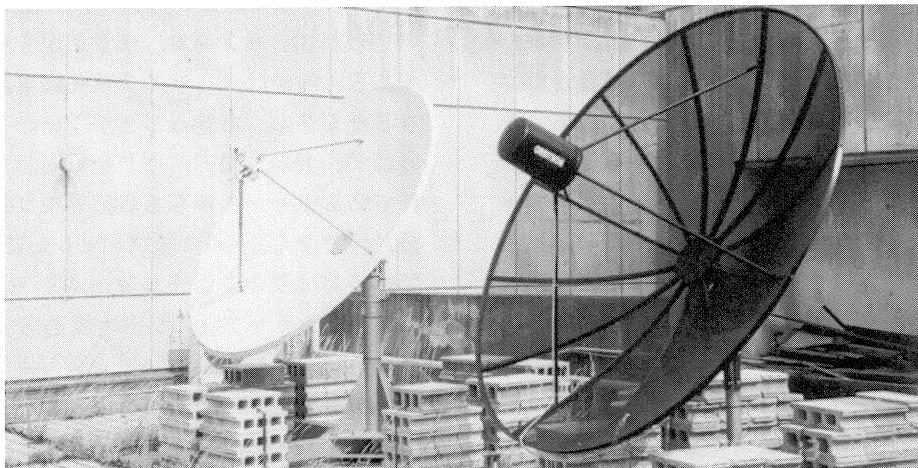
ない。この放送を聞くためにはリアルプレーヤが必要。rtsp://ではじまるURLは、リアルプレーヤに入力すること。ブラウザなど他のアプリケーションに入れてもエラーになるだけである。

<rtsp://www.xjbs.com.cn/encoder/wy>

シルクロードのオアシスのことば、ウイグル語で放送を行なっている、*Şincañ Xälq Radiyo İstansisi* を聞くことができる。

先にも述べたが、インターネットが利用できない時代、短波放送が生の放送に触れるとの出来る貴重な手段であった。しかし雑音交じりでよく聞こえないことがたびたびであった。「昔に比べて今の外大生は恵まれている」などということは言いたくない。筆者はそれほど年寄りではないのである。短波にはインターネットでは味わうことのできない醍醐味や苦労話があるということが言いたいのであるが、またの機会にぜひ述べてみたい。

冒頭に名言を引用させていただいた溝上教授には、次のような名言もある。「ウォークマンで音楽を聞いている者は誤用もはなはだし。」これにあやからせていただければ次のようになろう。「パソコンでゲームをしている者は誤用もはなはだし。ワープロとメールにしか使わないのは適切な用法ではない。」



衛星放送視聴サービスのお知らせ

視聴覚資料係

英語、中国語、ロシア語の衛星放送に加えて、アジアサットⅡ、Ⅲ衛星を中心とした15言語17チャンネルの衛星放送受信システム平成が13年3月に完成しました。

また、8月にはA、B、C、D棟、管理棟、図書館棟内の受信端末アンテナ装置の整備工事も完了し、各共同研究室、アンテナ端子のある個人研究室、事務室、図書館テーブ・ライブラリーでより鮮明な画像、音声で24時間の視聴が可能になりました。

当係では、4階衛星放送室で各言語の衛星放送を受信しUHFに変調、送出しています。下記の衛星放送受信番組及び変調チャンネル一覧表の変調チャンネルにチューニングすれば全ての番組を24時間見ることができます。ドイツ語など一部の衛星放送のホームページでは、1週間周期位の番組スケジュールを提示していますので参考にして下さい。

トルコ語のLL授業では、トルコ語衛星放送「TRT」のヘッドラインニュースを毎回授業で使用、またテーブライブラリーで録画したテープを繰り返して見るということでより効果的な授業ができたという報告を受けています。

テープ・ライブラリーの16ブースで衛星放送視聴サービスを行っていますが、留学生だけでなく学部学生の利用頻度も非常に高いものとなっています。

E棟及び留学生日本語教育センターには、図書館からの同軸ケーブルが接続されていないので衛星放送視聴サービスを受けることができないのが現状の問題点でありますが、今後整備、構築が望されます。

《衛星放送受信番組及び変調チャンネル一覧表》

言語名	番組名	変調CH	衛星名
英語	CNN	1 3	C S
中国語	CCTV 4	1 5	ASIASAT 3S
ロシア語	TV 6 MOSKVA	1 7	YAMAL L102
日本語	放送大学	2 1	C S
日本語	NHK BS 2	2 5	B S
日本語	NHK BS 1	2 7	B S
中国語	鳳凰	4 1	ASIASAT 2
中国語	CHANNEL V	4 3	ASIASAT 2
広東語	広東電視台	4 5	ASIASAT 2
韓国語	ARIRANG TV WORLD1	2 3	ASIASAT 3S
ビルマ語	放送休止中	2 9	ASIASAT 2
タイ語	TVT CHAANEL 11	3 1	THAIMCOM
ベトナム語	VT 4	3 3	THAIMCOM
モンゴル語	内蒙古电视台	3 5	ASIASAT 2
トルコ語	TRT	6 1	THAIMCOM
アラビア語	SAUDI CHANNEL 1	3 9	ASIASAT 2
ヒンディ語	ZEE NEWS	4 7	ASIASAT 3S
ウルドゥ語	放送休止中	4 9	ASIASAT 3S
ドイツ語	DEUTSCHE WELLE TV	5 1	ASIASAT 2
フランス語	TV 5 ASIE	5 3	ASIASAT 2
スペイン語	TVE INTERNATIONAL	5 5	ASIASAT 2
ポルトガル語	RTP INTERNATIONAL	5 7	ASIASAT 2
イタリア語	RAI INTERNATIONAL 2	5 9	ASIASAT 2

<LL便り1>

平成13年テープ・ライブラリー利用統計

1) 映像資料月別利用統計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
V H S	1,256	627	226	1,392	1,750	1,585	1,186	298	279	1,345	1,316	1,028	12,288
D V D	70	74	43	78	243	292	681	127	77	753	682	557	3,677
L D	175	42	7	93	215	150	138	11	8	98	153	130	1,220
衛星放送					18	31	31	13	3	7	31	33	167
計	1,501	743	276	1,563	2,226	2,058	2,036	449	367	2,203	2,182	1,748	17,352

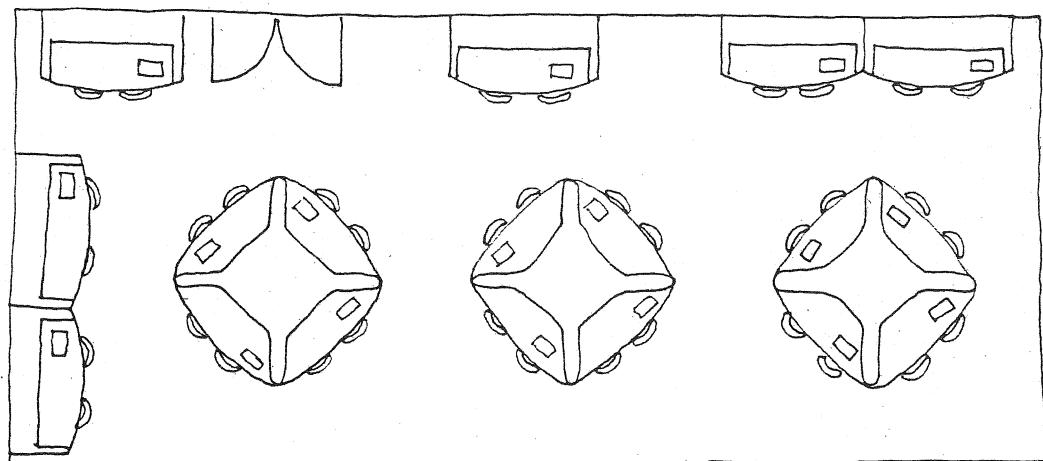
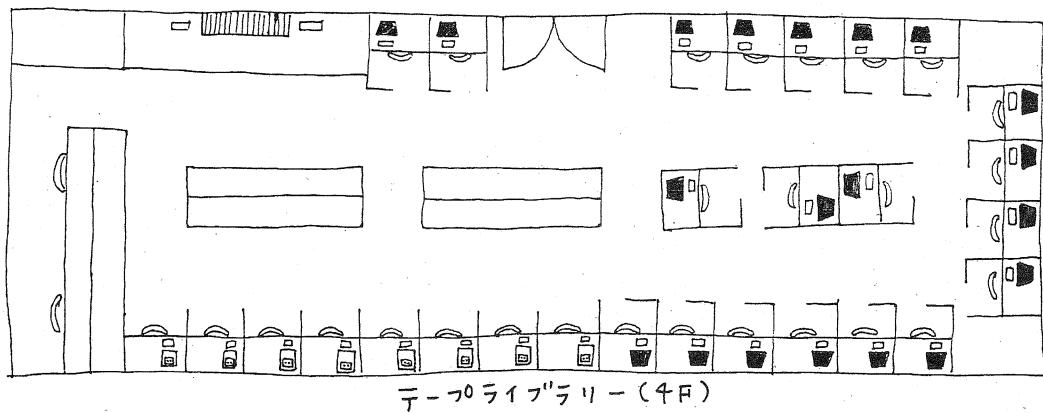
2) 音声資料月別利用統計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
カセット	105	49	3	127	252	156	236	42	63	238	286	241	1,798
C D	39	38	15	67	112	53	87	23	68	155	138	93	888
MD					1	2	2	2	1	1	1	1	11
計	144	87	18	194	365	211	325	67	132	394	425	335	2,697



3) 利用の多かった映像資料です。

資料名(制作年) / 監督名	資料番号	利用回数
①アメリカン・ビューティー ('99) / サム・メンデス	E-0971	258
②メリーに首ったけ ('98) / ボビー・ファレリー	E-0981	204
③オータム・イン・ニューヨーク ('00) / ジョアン・チェン	E-0986	203
④ノッティングヒルの恋人 ('99) / ロジャー・ミッケル	E-0982	179
⑤グリーン・マイル ('99) / フランク・ダラボン	E-0980	174
⑥シックス・センス ('99) / M. ナイト・シャマラン	E-0959	170
⑦ダンサー・イン・ザ・ダーク ('01) / ラース・フォン・トリアー	E-1013	164
⑧アンナと王様 ('99) / アンディ・テナント	E-0960	162
⑨リトル・ダンサー ('00) / スティーヴン・ダルドリー	E-1022	141
⑩海の上のピアニスト ('99) / ジュゼッペ・トルナトーレ	E-0993	138



〈L L便り2〉

DVD所蔵一覧 その1

〈資料名(公開年)／監督名〉

〈キャプション〉〈時間〉〈資料番号〉

(英語)

血と砂 ('22) /フレッド・ニブロ	日本語字幕	1'00	E-0100/4
リーサル・ウェポン ('87) /リチャード・ドナー	日本語字幕	1'50	E-0388
天使にラブ・ソングを 2 ('93) /ビル・デューカー	日本語字幕	1'48	E-0888/B
バッファロー' 6 6 ('98) /ヴィンセント・ギャロ	日本語字幕	1'51	E-0972
グリーン・マイル ('99) /フランク・ダラボン	日本語字幕	3'08	E-0980
メリーに首ったけ ('98) /ボビー・ファレリー	日本語字幕	1'59	E-0981
ノッティングヒルの恋人 ('99) /ロジャー・ミッチャエル	日本語字幕	2'03	E-0982
サイダーハウス・ルール ('00) /ラッセ・ハルストレム	日本語字幕	2'06	E-0983
ミッション・トゥ・マーズ ('00) /ブライアン・デ・パルマ	日本語字幕	1'54	E-0984
ボーイズ・ドント・クライ ('99) /キンバリー・ピアース	日本語字幕	1'59	E-0985
オータム・イン・ニューヨーク ('00) /ジョアン・チェン	日本語字幕	1'46	E-0986
インサイダー ('99) /マイケル・マン	日本語字幕	2'38	E-0987
海の上のピアニスト ('99) /ジュゼッペ・トルナトーレ	日本語字幕	2'05	E-0993
スリーピー・ホロウ ('99) /ティム・バートン	日本語字幕	1'45	E-0994
ザ・ハリケーン ('99) /ノーマン・ジュイソン	日本語字幕	2'25	E-0995
トーマス・クラウン アフェアー ('99) /ジョン・マクティアナン	日本語字幕	1'54	E-0996
M: 1 - 2 ('01) /ジョン・ウー	日本語字幕	2'04	E-0997
マルコヴィッチの穴 ('01) /スパイク・ジョーンズ	日本語字幕	1'52	E-0998
マグノリア ('99) /ポール・トーマス・アンダーソン	日本語字幕	3'09	E-0999
パトリット ('00) /ローランド・エメリッヒ	日本語字幕	2'45	E-1000
アンジェラの灰 ('00) /アラン・パーカー	日本語字幕	2'26	E-1001
シャンドライの恋 ('98) /ベルナルド・ベルトルッチ	日本語字幕	1'47	E-1002
グラディエーター ('00) /リドリー・スコット	日本語字幕	2'35	E-1003
フェアリー・テイル ('99) /チャールズ・スター・リッジ	日本語字幕	1'38	E-1004
僕たちのアナ・バナナ ('01) /エドワード・ノートン	日本語字幕	2'09	E-1011
エリザベス ('99) /シェカール・カプール	日本語字幕	2'03	E-1012
ダンサー・イン・ザ・ダーク ('01) /ラース・フォン・トリアー	日本語字幕	2'20	E-1013
偉大なるジャズの歴史 ('94) /マシュー・セイジ	日本語字幕	1'38	E-1016
ブルーノート物語 ('99)	日本語字幕	1'53	E-1017
17歳のカルテ ('99) /ジェームズ・マンゴールド	日本語字幕	2'07	E-1018
秘密の花園 ('00) /アニエスカ・ホランド	日本語字幕	1'42	E-1019
ぼくの国・パパの国 ('99) /ダミアン・オドネル	日本語字幕	1'37	E-1020
ブルーフ・オブ・ライフ ('00) /ティラー・ハックフォード	日本語字幕	2'15	E-1021
リトル・ダンサー ('00) /スティーヴン・ダルドリー	日本語字幕	1'51	E-1022

〈資料名(公開年)／監督名〉

ヴァージン・スーサイズ ('00) ／ソフィア・コッポラ
 エイミー ('99) ／ナディア・タス
 ダーク・エンジェル 1 ('01) ／ジェームズ・キャメロン
 1 3 デイズ ('01) ／ロジャー・ドナルドソン
 ザ・セル ('00) ／ターセム・シン
 ドッグ・ショウ ('01) ／クリストファー・ゲスト
 アリー・マイ・ラブ ファースト・シーズン
 アリー・マイ・ラブⅡ セカンド・シーズン
 ハート・オブ・ウーマン ('00) ／ナンシー・メイヤーズ
 キャスト・アウエイ ('01) ／ロバート・ゼメキス
 ショコラ ('01) ／ラッセ・ハルストレム
 スターリングラード ('01) ／ジャン=ジャック・アノー
 スナッチ ('01) ／ガイ・リッチャー
 ミート・ザ・ペアレンツ ('01) ／ジェイ・ローチ
 タイタンズを忘れない ('01) ／ボアズ・イエーキン
 ハイ・ファイデリティ ('01) ／スティーヴン・フリアーズ
 ジョン・コルトレーンの世界 ('90) ／ロバート・パルマー
 セロニアス・モンクの肖像 ('91) ／マシュー・セイジ

(ドイツ語)

ニックス・ムーヴィー：水上の稻妻 ('80) ／ヴィム・ヴェンダース
 T U V A L U ツバル ('01) ／ファイト・ヘルマー

(ノルウェー語)

ソフィーの世界 ('99) ／エリック・グスタフソン

(スウェーデン語)

マイライフ・アズ・ア・ドッグ ('95) ／ラッセ・ハルストレム
 太陽の誘い ('98) ／コリン・ナトリー

(フランス語)

橋の上の娘 ('98) ／パトリス・ルコント
 天使が見た夢 ('98) ／エリック・ゾンカ
 スペシャリスト ('99) ／エイアル・シヴァン
 サルサ！ ('99) ／ジョイス・シャルマン・ブニュエル
 クリクリのいた夏 ('99) ／ジャン・ベッケル
 奇人たちの晩餐会 ('99) ／フランシス・ヴェペール
 ぼくのバラ色の人生 ('98) ／アラン・ベルリネール
 出発 ('67) ／イエジー・スコリモフスキ
 夜霧の恋人たち・アントワーヌとコレット ('68) ／フランソワ・トリュフォー

〈キャプション〉〈時間〉〈資料番号〉

日本語字幕	1'38	E-1023
日本語字幕	1'43	E-1024
日本語字幕	1'27	E-1025
日本語字幕	2'25	E-1026
日本語字幕	1'49	E-1027
日本語字幕	1'30	E-1029
日本語字幕	@0'45	E-1030
日本語字幕	@0'45	E-1030/B
日本語字幕	2'07	E-1031
日本語字幕	2'24	E-1033
日本語字幕	2'01	E-1034
日本語字幕	2'11	E-1035
日本語字幕	1'43	E-1036
日本語字幕	1'48	E-1037
日本語字幕	1'54	E-1038
日本語字幕	1'54	E-1039
日本語字幕	1'00	E-1040
日本語字幕	1'00	E-1041
日本語字幕	1'27	D-0117
日本語字幕	1'32	D-0123
日本語字幕	1'47	Nor-0001
日本語字幕	1'42	Sw-0020
日本語字幕	1'58	Sw-0040
日本語字幕	1'47	F-0339
日本語字幕	1'47	F-0340
日本語字幕	2'08	F-0351
日本語字幕	1'40	F-0352
日本語字幕	1'55	F-0353
日本語字幕	1'20	F-0354
日本語字幕	1'30	F-0355
日本語字幕	1'31	F-0357
日本語字幕	1'51	F-0358

〈資料名(公開年)／監督名〉		〈キャプション〉〈時間〉〈資料番号〉		
家庭 ('70) / フランソワ・トリュフォー		日本語字幕	1'34	F-0359
クリムゾン・リバー ('00) / マチュー・カソヴィッツ		日本語字幕	1'46	F-0363
(スペイン語)				
ブエナ★ビスタ★ソシアル★クラブ ('99) / ヴィム・ヴェンダース		日本語字幕	1'41	S-0081
オール・アバウト・マイ・マザー ('99) / ベドロ・アルモドバル		日本語字幕	1'41	S-0082
どつかれて アンダルシア ('01) / アレックス・デ・ラ・イグレシア		日本語字幕	1'47	S-0085
(イタリア語)				
星降る夜のリストランテ ('98) / エットレ・スコーラ		日本語字幕	1'50	It-0134
(ロシア語)				
ルナ・パパ ('99) / バフティヤル・フドイナザーロフ		日本語字幕	1'49	R-0134
こねこ ('96) / イワン・ポポフ = K O T È H O K		日本語字幕	1'24	R-0136
(チェコ語)				
ひなぎく ('66) / ヴェラ・ヒティロヴァー		日本語字幕	1'15	Cz-0018
(日本語)				
東京裁判 ('83) / 小林正樹		日本語	4'37	J-0048
プラザ ('01) / 北野武		日本語	1'35	J-0298
(中国語)				
宋家の三姉妹 ('97) / メイベル・チャン		日本語字幕	2'25	C-0322
グリーン・デステニー ('00) / アン・リー		日本語字幕	2'00	C-0335
初恋のきた道 ('00) / チャン・イーモウ		日本語字幕	1'30	C-0342
ヤンヤン 夏の想い出 ('01) / エドワード・ヤン		日本語字幕	2'53	C-0343
あの子を探して ('01) / チャン・イーモウ		日本語字幕	1'46	C-0344
(韓国語)				
カル ('99) / チャン・ユニヨン		日本語字幕	1'58	K-0107
ペパーミント・キャンディー ('00) / イ・チャンドン		日本語字幕	1'58	K-0108
J S A ('00) / パク・チャヌク		日本語字幕	2'31	K-0109
(チベット語)				
ザ・カップ 夢のアンテナ ('01) / ケンツェ・ノルブ		日本語字幕	1'33	Ti-0001
(ベトナム語)				
季節の中で ('99) / トニー・ブイ		日本語字幕	1'48	V-0018
(ペルシャ語)				
太陽は、ぼくの瞳 ('99) / マジッド・マジディ		日本語字幕	1'45	P-0057
(ギリシャ語)				
永遠と一日 ('98) / テオ・アンゲロプロス		日本語字幕	2'13	G-0009

テープライブラリー利用案内

テープライブラリーでは、語学、音楽などのテープ、CD、MD、また、語学、映画、演劇などのビデオ、DVD、LDなどのAV資料の視聴ができます。

①利用方法

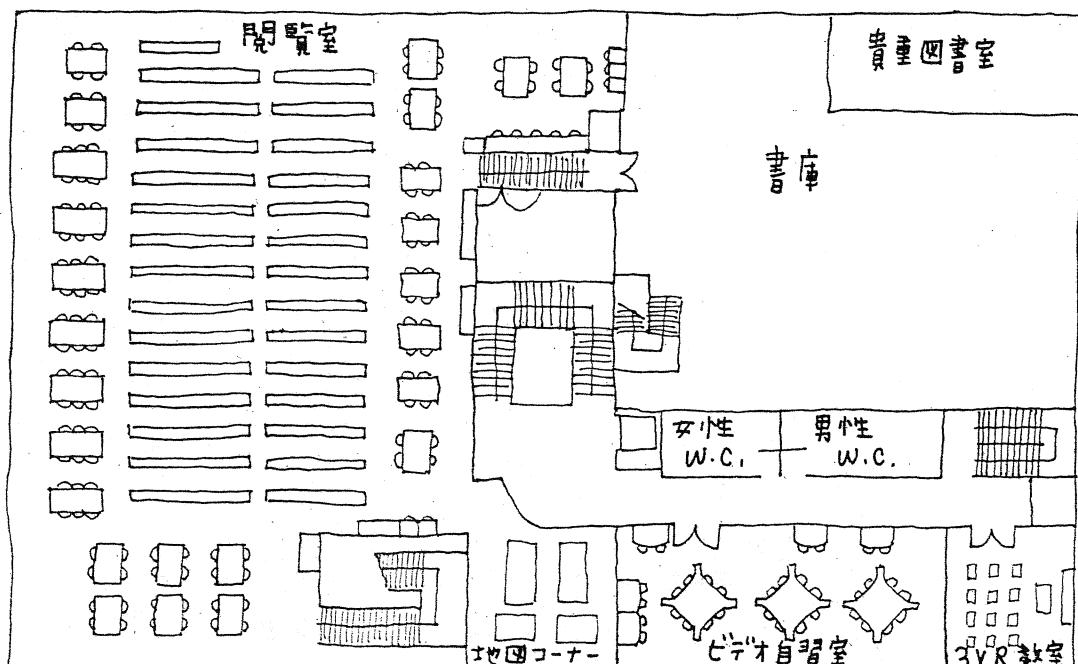
利用したい資料が見つかれば、AV資料請求書の所定の事項を記入し、ライブラリー・カードを添えて提出し、ブースの指定を受け、視聴します。

②開館時間

月～金曜日 9：30～21：00
土曜日 10：00～16：00

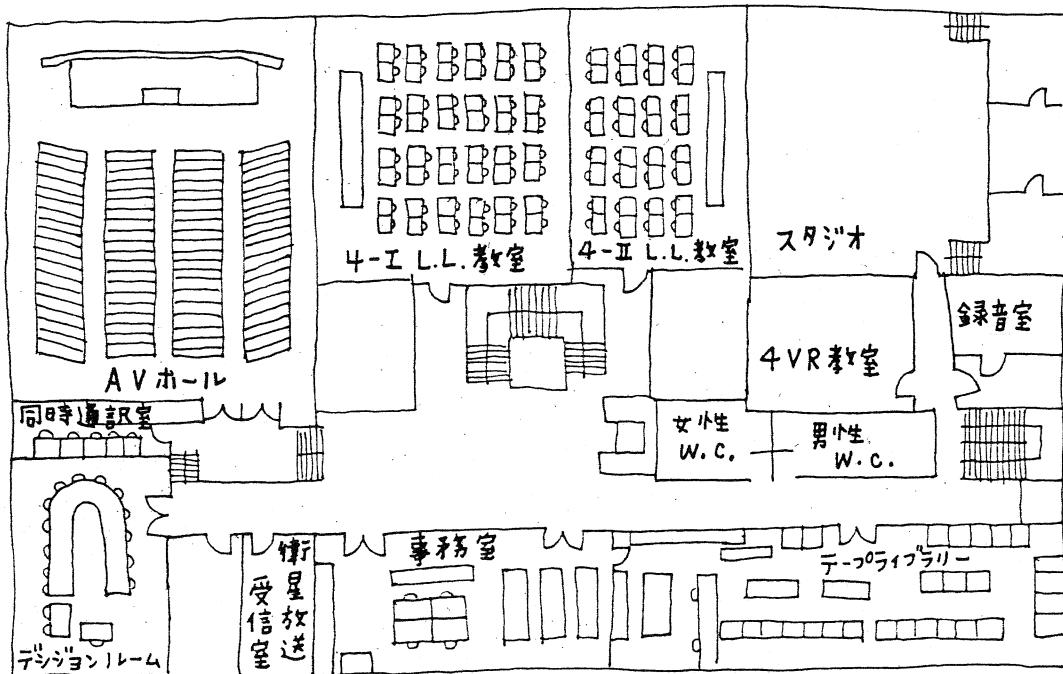
視聴覚教育施設（3階）配置図

3F

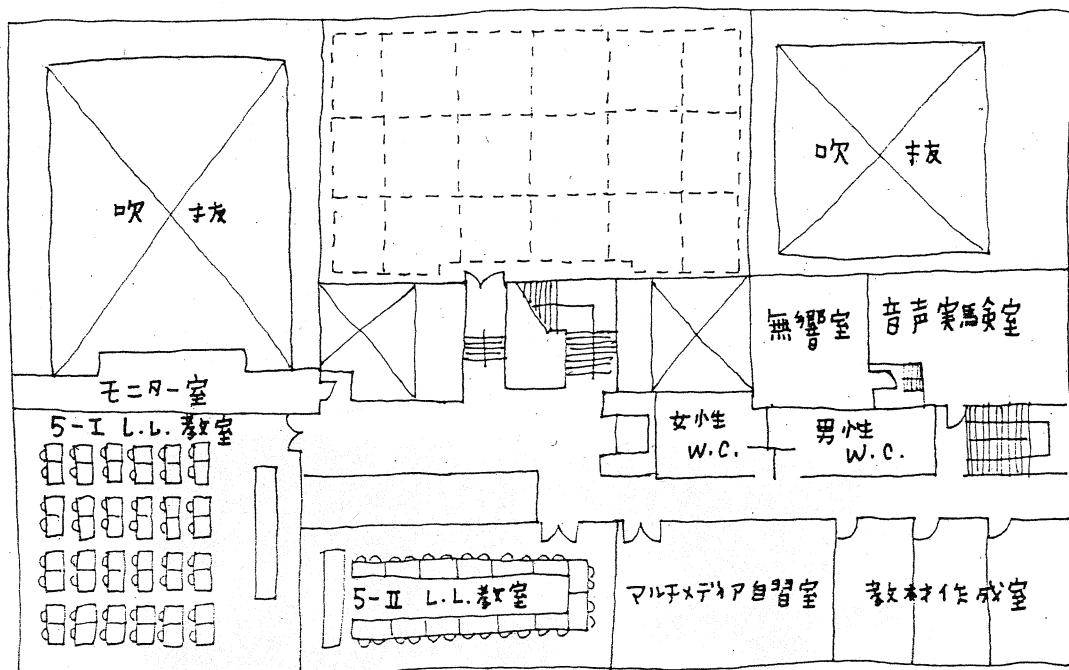


視聴覚教育施設（4, 5 階）配置図

4F



5F



AV Journal 第32号

2002年3月27日発行

編集 附属図書館 視聴覚資料係
発行 大阪外国语大学
印刷 (株)ユニワールド印刷センター